

製品安全データシート

製造者情報

EA983BB-10

会社名 (有) 昭和化学研究所
 住所 福井県あわら市温泉3-503
 電話番号 0776-73-3969 fax0776-78-4375
 作成・改訂 2004年2月25日

製品名 プライマースプレー

物質の特定

単一製品・混合物の区分	混合物	
化学名	合成樹脂とトルエン主体の溶剤の混合物 (含アセトン、n-ヘキサン、シクロヘキサン)	ジメチルエーテル
成分及び含有量	50%	50%
化学式又は構造式	主成分トルエン $C_6H_5CH_3$	CH_3-O-CH_3
官報公示整理番号	3-2	2-360
CAS No	108-88-3	115-10-6
国連分類	クラス3	

危険物の分類

分類の名称	急性毒性物質 (有機溶剤) 引火性液体 (第四類危険物)
危険性	引火しやすい
有毒性	蒸気吸入により、めまい、頭痛等の症状が起きる。

応急処置

目に入った場合	清浄な水で最低15分間以上洗眼する。痛みが残る場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類、靴等を脱ぎ、皮膚に付着した部分を石けんと水で洗浄し、大量の水で洗い流す。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、保温し安静にする。不快感のある場合は医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し医師の手当を受ける。

火災の処置

消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。容器は高温になると破裂する危険性があるので、火元から移動させるか冷却する。
消火剤	粉末、二酸化炭素、泡 (アルコフォーム) 等が有効である。

漏出時の措置

- ・漏出した液を、砂や布等で吸着させ容器に回収する。
- ・噴射剤が漏れているときは、容器の飛散に注意し漏出した液を回収する。
- ・漏出した液を、下水、河川、海洋に排出させてはならない。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

換気の良い場所で取り扱う。皮膚、粘膜、着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。炎や火気の近くで使用しないこと。火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

保管

乳幼児の手の届かない所に保管すること。高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる場所や火気の近くなど温度が40度以上になる所に置かないこと。缶錆による破裂を防ぐため、湿度の多い場所に置かないこと。

その他

使い切って捨てること。火の中に入れてはいけないこと。

暴露防止措置

管理濃度	製品での設定はありません。 製品中のトルエンの設定は 50 ppm
------	--------------------------------------

許容濃度	製品での設定はありません。 製品中のトルエンの設定は 日本産業衛生学会 50 ppm ACGIH 50 ppm
設備対策	屋内作業場での使用は局所排気装置を設置する。取扱場所の近くに洗眼及び身体清浄の為の設備を設ける。
保護具	状況に応じ、呼吸保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣類を使用する。

物理／化学的性質

	原液	噴射剤
外観	刺激臭のある褐色粘稠液体	常温では無色の気体
沸点	110.6℃ トルエン	-24.8℃
融点	-95℃ トルエン	-141.5℃
比重	0.9 トルエン	0.66

危険情報 (安定性・反応性)

	原液	噴射剤
引火点	-22℃ nヘキサン	-41.1℃
発火点	240℃ nヘキサン	280℃
爆発範囲	1.1 nヘキサン～13 アセトン Vol%	3.4～27 Vol%
可燃性	引火しやすい	
安定性・反応性	通常の取扱条件においては安定である。	

有毒性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

	原液	噴射剤
皮膚腐食性	皮膚の乾燥、脱脂効果があるため皮膚炎を起こすことがある。	皮膚を侵すことは少ないが液体の状態に触れたときには凍傷の恐れがある。
刺激性	高濃度の蒸気は眼、喉、呼吸器粘膜を刺激する。	気体状態では極めて少ない。
急性毒性	原液 ヒトの多量吸入による急性中毒の症状は眼、喉の刺激、頭痛、不安感、吐気、知覚麻痺、血圧降下、呼吸速度の上昇と不規則化などの報告がある。	噴射剤 LD50 (吸入)ラット 308g/m ³ LD50 (吸入)マウス385940ppm/30分
慢性中毒	反復または長期の皮膚との接触は、皮膚炎を起こすことがある。末梢神経系に影響を与え、多発性神経障害を生ずることがある。	
催奇形性	トルエン：動物実験において胎児の死亡率の増加などの影響が認められたとの報告がある。シンナー遊びなどの暴露によるヒトの胎児に障害の認められたことが報告されている。	

環境影響情報

	トルエン	アセトン	n-ヘキサン	シクロヘキサン	噴射剤
分解性	生分解性良好	活性汚泥により分解	情報なし	難分解性 分解度0.6% (BOD)	情報なし
蓄積性	情報なし	情報なし	情報なし	0.1mg/ℓ =濃縮倍率31～102 0.01mg/ℓ =濃縮倍率37～129	情報なし
魚毒性	各種魚類の TLm(24, 96H) 10～60mg/ℓ	ラスボラヘテロモルフア (コイ科) TLm48:4000ppm レボミスファミリス (バス科) LC1 hr:14, 350ppm	影響あり	LC50(48H) 9mg/ℓ (ヒメダカ)	情報なし

廃棄上の注意

空容器は火気のない戸外でボタンを押し、噴射音の無くなるまでガス抜きをしてから、穴を開けて廃棄する。

輸送上の注意

運搬に際しては、転落、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

主な適用法令

労働安全衛生法	危険物（引火性のもの） 有機溶剤中毒予防規則：第二類有機溶剤
消防法	危険物第四類第一石油類
毒物劇物取締法	劇物（トルエン）

その他

記載内容は、現時点で入手できる資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。